

祖母の笑顔

新潟県五泉市立五泉北中学校

三年 荒木大輔

皆さんには、高齢者の家族がいますか？ 近年では高齢者の一人暮らしが増える傾向にあるようですが、私の家には今年で九十歳になる祖母がいます。かなりの高齢なので日常生活の中でも不自由な思いをすることがあるようです。そんな祖母が、毎日少しでも不自由さを感じずに、豊かな生活を送るにはどうしたらいいのか考えることがあります。

そんなことをきっかけに、私は将来福祉に関係する仕事に携わりたいと考えるようになりました。福祉というと、最初は障害のある方への特別な支援などを指すものと考えていました。しかし、本来はすべての人々に幸福を提供することではないかと思っただけです。その幸福の中には、もちろん高齢の方への援助や手助けも含まれているはずで、高齢者が一人でやると何十分もかかる作業も、私たちが手伝えば数分で終わるものも多いでしょう。作業時間が短縮できれば高齢の方たちの心理的ストレスや疲労をかなり和らげることができると思います。私の家でも家族みんなで祖母のために食事の準備をしたり、着替えやお風呂の手伝いをしたりと、祖母に負担をかけないようにいろいろなことを手伝っています。心に余裕をもってもらおうと、家族で協力して

祖母の手伝いに力を入れてきました。

数年前に祖父をなくした祖母は、その頃からだんだん元気がなくなっていくように思います。祖母は祖父と仲たがいすることも多かったようですが、仲の良いところを見ることも多かったもので、祖父を亡くしてからはよくボートとしていたところを見かけていました。ですが、最近では徐々に笑顔を見る機会が前より増え、少しずつ元気を取り戻しているように感じます。そうやって家族が手助けすることによって、祖母自身、他のことをする時間が増え、生活の質も向上したといえるのではないのでしょうか。祖母は手助けをしてもらって笑顔になり、その笑顔を受け取った私も何だかうれしい気持ちになります。

しかし、私の両親はどちらも働いていて日中はほとんどいないので、祖母は週に三回福祉施設に通っています。以前は福祉施設に行っていなかったのですが、特に平日は自由が利かない祖母を一人にしてしまう状態が多く、とても心配でした。ですから、福祉施設に通うようになってからは、心配な状態もずいぶん少なくなり、安心できるようになりました。私の祖母をしつかりと手助けしてくださる施設の方たちはとてもかっこいいと思います。

祖母は高齢のためか体力も低下していて、よく体調を崩します。体調が悪くなると精神的にも影響が出て、元気がなくなってしまうのです。中学生の私でも体調が悪くなると気持ちが悪くなり、元気がなくなってしまうようです。それが高齢者ともなればなおさらのことでしょう。ですが、そんな時も施設の方は祖母を元気づけようと親切に手助けをしてくださいます。そして、祖母に笑顔が増え「ありがとう」と感謝の言葉を伝えているのを見ることがあります。私の祖母と福祉施設の方との間に生まれた笑顔は

きつと、安心からくる笑顔なのだと思います。そんなやりとりを見て、私もあんなふうになりたいと憧れを持つようになったのです。これが、将来福祉に関する仕事に携わりたいと思うきっかけとなりました。誰かを笑顔にできる、自分がだれかの役に立ち、感謝してもらえる仕事、そんな仕事に将来就きたいと考えるようになったのです。

私に「ちから」をくれたもの。それはひとつに祖母の笑顔です。家族の笑顔です。毎日当たり前にあると、その大切さを実感できませんが、私を安心させ、一日一日を前に進ませてくれる大きな力です。そして、その祖母に笑顔をもたらしてくれた福祉施設の方たちは、私に将来の夢をもたらし、実現させてくれるための大きな力となっています。

中学三年生である私にとって、学校での勉強のこと、高校進学のこと、部活動のこと、友達とのこと……考えたり、悩んだりすることがたくさんあります。しかし、一方で一緒に住む高齢の祖母との生活や、その笑顔からもらえるパワーは、今自分ができるところに一杯取り組むための「ちから」となっています。そして、将来のことを具体的に考え、前に進むための大きな原動力となっているのです。